

クラブリーダーシッププラン (CLP) に関する地区の現状

—アンケート調査結果から見る—

地区研修リーダー補佐
研修・情報委員長
CLP特別委員長
栗山 昇 (朝霞)



平成20年12月12日付けで全クラブ (55クラブ) を対象にCLPに関する緊急アンケートをお願いしたところ、全クラブより御回答をいただきました。

クラブリーダーシッププランは、2004年11月国際ロータリー理事会においてクラブ活性化のプランとして、推奨クラブ細則を承認し、原則的には各クラブの裁量で決定することになっておりますが、極力各クラブにおいて導入することを奨励しております。内容的には、推奨クラブ細則はクラブの実情に適合した細則をつくり、毎年その細則を見直すことも奨励しております。

国際ロータリー理事会承認後、RIの公式文献で公表され、その当時は推奨クラブ細則についての理解は十分ではなく、むしろ戸惑いさえ感じられました。当地区においては、石川ガバナー年度、真下ガバナー年度にCLP特別委員会を設置し、要請のあったクラブについては推奨クラブ細則について説明してまいりました。その後、各クラブ内ではクラブ細則変更を熱心に検討、研究され、見直そうという気運が高まってきております。

そこで、当地区としましては、CLPについてのクラブの現況を把握するために、クラブ会長のご協力で、次のようなアンケート調査結果が出ましたので、ここに公表させていただきます。同時に、多数のクラブより貴重な意見もお寄せいただきましたので、合わせて本紙面で紹介させていただきました。

最後に、クラブ会長、CLP担当者のロータリアンの皆様には、アンケートに御協力、御意見をお聞かせいただき深く感謝申しあげる次第であります。

◇クラブから次のような御意見が寄せられました。

- ①CLPの意義は、社会からさすがロータリーと言われるようなクラブ主体の永続性のある奉仕活動の創設にあると考えています。その意味では、わがクラブはCLPを導入したといえるのか疑問に思っています。
- ②当クラブではRI承認細則に基づき、試験的に採用しました。少人数ですので全員が協力して、ク

ラブ運営が円滑に行われ、2007年7月1日より実施しました。

- ③CLP導入の必要性、その意味するところ等が当初理解できず、会員間でも戸惑いがあったが、地区からのご指導で組織図の改正を手始めに細則の改善等を手がけ、徐々に全会員の理解度とその意味する重要性の認識が高まりつつあると判断しています。
- ④クラブとして骨子をきちんと持っていれば、クラブのあり方が変わることはないと思います。
- ⑤四大奉仕が上位規定である事を理解して頂くのに苦労しました。
- ⑥各年度における、会長方針決定期間 (PETS以降2ヶ月程度) が非常に短く、次年度に対する事業計画 (活性化プランを含む) が立て難いのです。その為に、前年度を踏襲してしまう傾向があります。CLPを導入するには余程の期間を設け対応する必要があることから、一部導入し、不具合を改善し、数年かけて全面導入にならざるをえません。
- ⑦常任委員会の設置について、四大奉仕の取扱いについて各会員の理解度が異なり、やむを得ず「クラブ奉仕」などの旧名称を使用し、小委員会およびそれぞれの担当を設けました。常任委員長は、管轄の組織を統括し、全責任を持つものとし、次年度以降も、極力「継続性」を持たせて、不都合なところは各年度に変更をゆだねるものとし、ます。
- ⑧小クラブなので、それに則したCLPクラブ運営を行っているが、地区との整合性が整っていないので、今後委員会構成を再考し、地区も小クラブを多少考慮したセミナー等を開催してほしい。
- ⑨平成20年9月19日、クラブ協議会で正式承認とまだ日が浅いので、細則改正により特別何か活性化したとかはございませんが、今まで長い間定款に反した慣行を是正できたことが一番の収穫です。

- ⑩委員会数を統合減少させたが、運営上問題なし。
- ⑪四大奉仕を基本に小委員会を減らしました。
- ⑫2009~10年度採用に向け、12月8日協議会において委員会構成について承認。細則改正について細かく検討しているところです。モデル案1をもとに委員会構成に合わせた制定としたいです。
- ⑬加藤ガバナー年度にある程度完成させようと思っておりますが、会員の減少に比し地区の委員分類に対して対比リンクが困難になっております。地区の統括、整理 (項目は増やしても構いません) していただきたいと存じます。
- ⑭小クラブの場合、組織単純化され、活動に重点がしぼれ活性化できたと思います。
- ⑮当クラブでは、新しい組織、新しい考え方で進むほうが2570地区の活動に沿ったクラブ活動がしやすいだろうという判断のもとに、今年度より取り入れました。9月に栗山委員長に改正後の細則を見

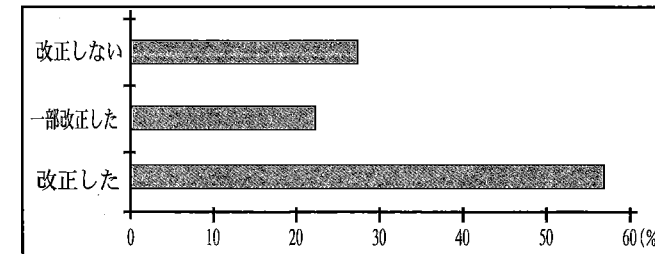
てもらいました。米国よりの留学生を二人受け入れており、8月まではその事に全力集中しています。集中するものがあると、会員相互でなんとかしなくてはという気運が出てきて、例会への出席率が上がってきています。クラブとしては早く導入して正解だったと思います。

- ⑯当クラブでは、委員会の統合等、奉仕A・Bという形ではないが、CLPを完全実施していると認識しています。
- ⑰クラブ内の会員数、内容によって改正の必要性があると思います。
- ⑱なかなか慣れませんが少しずつやっています。基本的なものは同じかと思えます。

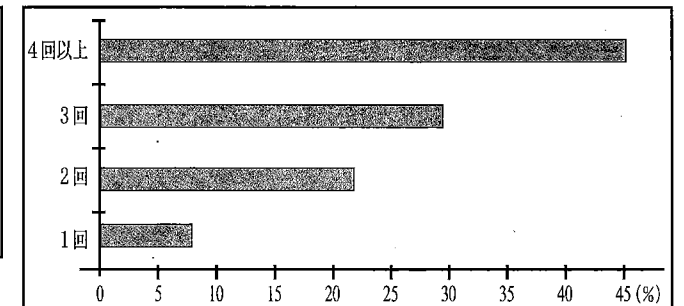
※18クラブ (クラブ名は省略) より、貴重な御意見を頂きましたので、原文のまま掲載させていただきました。

クラブリーダーシッププラン (CLP) に関する緊急アンケートの設問と結果は、次のとおりです。

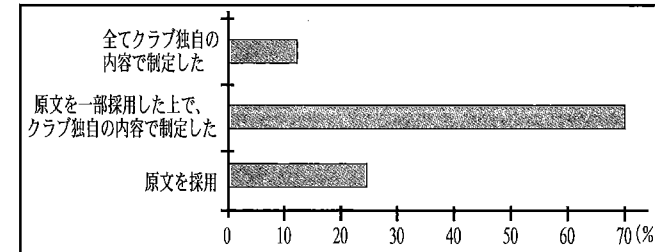
(1) RI理事会承認の推奨クラブ細則 (地区モデル案1・2含む) を基本として、貴クラブ細則を改正しましたか



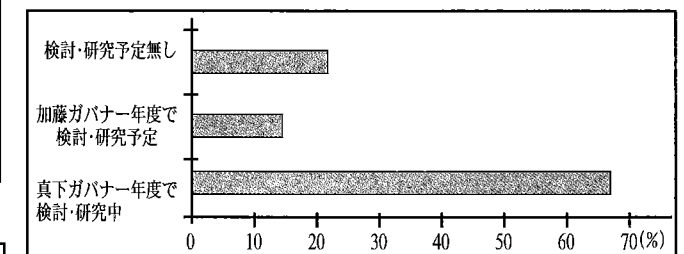
(4) クラブ細則の制定、改正に至るまで何回会合を開催しましたか



(2) 上記『一部改正した』『改正した』と回答したクラブのみご回答下さい



(5) (1)の設問で『改正しない』で回答したクラブのみご回答下さい



(3) 改正クラブ細則の施行日 (予定含む) は、いつですか

